

上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書（特別研究）

研究代表者 所属・職名 学校教育学系・教授

氏 名 水落 芳明

研究期間 平成27年度～平成28年度

研究費 1,200,000 円

研究プロジェクトの名称	体育科学習におけるICTを活用したアクティブ・ラーニングデザインの開発
研究プロジェクトの概要	アクティブ・ラーニングの視点に立った「主体的・対話的で深い学び」の導入が求められている。しかし、具体的な授業デザイン等の開発はこれから検討が必要というのが現状である。また、学校現場においては、デジタル教科書の導入等についても検討が進められ、ICTを活用した授業デザインの開発も求められている。 そこで、本研究では、ICT活用を専門とする専門職学位課程教員、体育科教育を専門とする修士課程教員と授業実践の専門家である現職院生や修了生の協働により、アクティブ・ラーニングとICT活用の考えを取り入れた授業モデルを考案し、授業実践を通じ、その効果を検証することを目的とする。
成果の概要	<授業実践段階> 授業実践は、教職大学院修了生の勤務する公立小学校で行い、授業者は、教職大学院修了生が担当した。また、その様子は、修士課程教員と専門職学位課程教員院生が参観し、協働で授業後の検討会を実施した。 <学会等における研究成果発表> 平成27年度、28年度ともに、研究の進捗状況等を学会で口頭発表し、専門家より助言を受けた。 <研究成果のまとめ> 本研究では、小学校5年生の授業において、1人1台のタブレット型端末が使用可能な環境を設定し、学習目標達成に向け、タブレット型端末に設定された機能の中で、学習者の判断で自由に使用する機能を選択活用できる授業実践を行った。学習者のタブレット型端末の活用実態と学習者相互の交流の実態を分析すると共に、情報活用能力測定尺度について検証した。その結果、学習者タブレット型端末を必ず使用するのではなく、タブレット型端末の機能が目的に合っているかどうか判断し、授業者が教授しなくても主体的、対話的に学習を進める中で活用方法を検討し、学習ツールの1つとして使用していることが明らかとなった。また、情報活用能力の向上においても有効であることが明らかとなった。
研究成果の発表状況	・外山良史・水落芳明：学習者によるタブレット型端末の機能の選択活用が情報活用能力と与える効果についての事例的研究，第14回臨床教科教育学セミナー2016，平成28年1月10日，玉川大学 ・外山良史・水落芳明：学習者によるタブレット型端末の機能の選択活用が情報活用能力に与える効果についての事例的研究，第14回臨床教科教育学セミナー2016，平成29年1月7日，信州大学 ・外山良史・水落芳明：小学校体育学習における学習者相互の継続的フィードバックが運動有能感に与える影響に関する事例的研究，上越教育大学教職大学院研究紀要，3，pp.111-119，2016.2.